

各 位

平成17年11月16日

東京都港区赤坂一丁目5番8号

株式会社 WOWOW

代表取締役社長 廣瀬 敏雄

(コード番号: 4839)

問合せ先 IR広報局長 高見澤尚樹

TEL 03(5414)8090

平成18年3月期(2005年度)中間決算のお知らせ

弊社は本日(11月16日)開きました第147回取締役会において、平成18年3月期(2005年度)中間決算(平成17年4月1日~平成17年9月30日)を確定いたしましたので、お知らせいたします。

詳細は別紙の通りです。

平成18年3月期(2005年度)中間決算に関するご説明

平成18年3月期(2005年度)中間期の加入状況

- a. 当中間期における放送業界の分野におきましては、アテネ五輪に端を発しましたプラズマテレビや液晶テレビなど、3波共用チューナー搭載の薄型デジタルテレビの販売状況も引き続き活況を見せ、地上・BSのデジタル放送視聴世帯が大幅に増加し、本年8月にはBSデジタル放送の普及数も1000万を突破しました。このような状況下、当中間期における当社グループの加入推進は、5月から7月にかけて、広告・宣伝と連携した加入者特典を用意した他、加入手続きの簡略化などを狙ってインターネット、携帯電話、BSデジタルデータ放送経由での加入料の各種割引価格を設定いたしました。その結果、当中間期の新規加入者数は、アナログ46,431名[前年同期比65.6%減]、デジタル88,946名[同54.3%増]、アナログ・デジタル合計で135,377名[同29.8%減]となりました。
- b. 一方解約者数は、アナログ129,727名[前年同期比10.3%減]、デジタル50,142名[同125.3%増]、アナログ・デジタル合計で179,869名[同7.8%増]となりました。
- c. 新規加入者数から解約者数を差し引きした正味加入者数は、アナログ83,296名の減少、デジタル38,804名[前年同期比9.7%増]の増加となり、アナログ・デジタルの合計では44,492名の純減となりました。
- d. また、アナログ契約からデジタル契約への移行者数は65,082名[前年同期比11.9%増]でした。
- e. 従いまして、当中間期末の累計正味加入者数はアナログ1,713,432名[前年同期比14.8%減]、デジタル703,226名[同41.1%増]、アナログ・デジタルの合計2,416,658名[同3.7%減]となりました。デジタル加入者数が前年同期に比べ204,748名増加し、全加入者数に占める割合が前年同期の19.9%から29.1%となり、着実にデジタル化が進展いたしました。

平成18年3月期(2005年度)中間期業績状況

- a. 連結の当中間期における営業収益は、累計加入者数の減少による視聴料収入の減少を連結子会社の外販収入の増加等で補い、320億2百万円と、前年同期に比べ5億30百万円[1.7%増]の増収となりました。また、営業費用は302億87百万円と前年同期に比べ11億10百万円[3.5%減]の減少となりました。これは、前年同期にありましたサッカー「UEFA EURO 2004™」級の大型番組がなかったことによる番組費の減少などによるものです。その結果、営業利益は17億14百万円[前年同期比16億40百万円増]となりました。営業外損益で、持分法適用会社の投資損失8億69百万円を計上したことなどにより、経常利益は8億73百万円[同10億97百万円増]となりました。特別損益におきまして、BSデジタルの終了に伴う関連放送設備およびCS関連リース資産の減損処理2億64百万円の計上等があり、中間純利益は、5億35百万円となり、前年同期に比べ9億77百万円の増益となりました。
- b. 一方、単体の当中間期の営業収益は累計加入者数の減少による視聴料収入の減少により307億25百万円と、前年同期に比べ2億26百万円[0.7%減]の減収となりました。また、営業費用は290億28百万円と前年同期に比べ22億96百万円[7.3%減]の減少となりました。これは連結と同様、前年同期にありました大型番組がなかったことによる番組費の減少などによるものです。その結果、営業利益は16億97百万円[前年同期比20億70百万円増]に、経常利益は17億48百万円[同21億33百万円増]となりました。特別損益におきまして、連結と同様の理由に加え、(株)CS-WOWOW(持分法適用の関連会社)への貸付金に対する貸倒引当金6億94百万円の計上等がありましたが、中間純利益は7億36百万円と、前年同期に比べ11億43百万円の増益となりました。

平成18年3月期(2005年度)通期予想

- a. 当社は、このようなデジタル放送の市場拡大を追い風にして、これまでの「15日間無料視聴体験」施策に加え、デジタル受信機器に同梱されております“B-CASカード”の機能を使って、デジタル受信機器の設置時から自動的に7日間無料視聴が可能な“お試し視聴”施策を、10月出荷分の“B-CASカード”より実施いたします。この施策を成功させる為に、視聴者のニーズに応えるべく、映画、ステージ、音楽ライブイベント、ドラマと体験フェスタ連動の企画を毎週編成し、また年末の新規加入ピークに合わせた編成上の年末年始特別企画を行い、体験から契約獲得へという流れを構築すべく事業を展開してまいります。以上により、平成18年3月期通期の期末累計正味加入者数は241万8千名を見込んでおります。
- b. 連結の業績見通しは、営業収益656億円、営業利益22億円、経常利益16億円、当期純利益12億、また単体の業績見通しは、営業収益630億円、営業利益21億円、経常利益23億円、当期純利益8億円を予定しております。

株式会社WOWOW 代表取締役社長 廣瀬 敏雄

平成17年11月16日

株式会社WOWOW

平成18年3月期(2005年度)中間決算概況表

1. 加入状況

(実数単位:1名)

項 目	平成18年3月期(2005年度)中間期			平成18年3月期(2005年度)予想		
	実 績	前年同期実績	前年比	予 想	前年度実績	前年比
新規加入者数	135,377	192,800	70.2%	-	320,573	-
解約者数	179,869	166,905	107.8%	-	344,104	-
正味加入者数	44,492	25,895	-	-	23,531	-
累計正味加入者数	2,416,658	2,510,576	96.3%	2,418,000	2,461,150	98.2%
(内、アナログ)	1,713,432	2,012,098	85.2%	1,545,000	1,861,810	83.0%
(内、デジタル)	703,226	498,478	141.1%	873,000	599,340	145.7%

2. 連結決算

(金額単位:百万円)

項 目	平成18年3月期(2005年度)中間期						平成18年3月期(2005年度)予想			
	予 想	実 績	収入比	前年同期実績	増減	前年比	予 想	収入比	前年度実績	前年比
営業収益	31,900	32,002	100.0%	31,471	530	101.7%	65,600	100.0%	63,900	102.7%
営業利益	1,600	1,714	5.4%	73	1,640	2,325.1%	2,200	3.4%	3,086	71.3%
経常利益	800	873	2.8%	223	1,097		1,600	2.4%	2,665	60.0%
当期純利益	500	535	1.7%	442	977	-	1,200	1.8%	2,203	54.5%

3. 単体決算

(金額単位:百万円)

項 目	平成18年3月期(2005年度)中間期						平成18年3月期(2005年度)予想			
	予 想	実 績	収入比	前年同期実績	増減	前年比	予 想	収入比	前年度実績	前年比
営業収益	30,700	30,725	100.0%	30,951	226	99.3%	63,000	100.0%	62,508	100.8%
営業利益	1,600	1,697	5.5%	373	2,070	-	2,100	3.3%	2,599	80.8%
経常利益	1,700	1,748	5.7%	384	2,133	-	2,300	3.7%	2,343	98.2%
当期純利益	700	736	2.4%	407	1,143	-	800	1.3%	2,030	39.4%

注)上記2.連結決算、3.単体決算表中の予想数値は、本年10月21日公表数値を表記しております。